

# 産業技術短期大学校 推進協議会だより

第15号 令和8年3月25日発行  
〒241-0815 横浜市旭区中尾2-4-1  
神奈川県立産業技術短期大学校内  
電話 045-363-1233  
FAX 045-392-1971

## ■会長あいさつ



推進協議会だより第15号発行にあたり、ごあいさつ申し上げます。

近年は、自然災害と防災に関する対策、インフラ整備の緊急な見直しなどが叫ばれました。また、産業分野では政府が掲げるカーボンニュートラルの実現に向けて、再生可能エネルギーや省エネルギー技術の導入、さらにDX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みや製造業と情報通信技術の連携が進展しています。

こうした状況に対応するためには、それぞれの分野において技能・技術教育と継承が必要であることが見えております。当推進協議会においても、若年層への産業教育を進めるにあたり短大校との連携と情報共有、そして会員同士の連携強化が必要であることが考えさせられました。

令和7年度の推進協議会の事業を振り返ってみますと、2月に会員企業の取組みを発表する事業成果発表会を開催し、本年度分の優良従業員表彰式も同日に行いました。また、短大校の在学生と交流をもつ「卒業生ホームカミングデー」、高校内ガイダンスの「社会人講話」へ卒業生の協力など、卒業生の成長につながる事業にも取り組みました。今回発行します推進協だよりも、紙面を増やして内容を充実させました。

当推進協議会では、今後も、短大校の教育訓練活動の支援と会員企業の皆様に向けた事業に取り組んでまいりますので、皆様のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

産業技術短期大学校職業能力開発推進協議会  
会長 野中啓孝

5月21日（水）

## ■定期総会



神奈川県産業労働局労働部  
塚本部長あいさつ

定期総会は、14時から短大校大教室にて開催しました。会長あいさつ、校長あいさつ、来賓の紹介が行われ、来賓を代表して神奈川県産業労働局労働部 塚本部長からご祝辞をいただきました。

委任状を含め199会員の出席を得て、「令和7年度事業計画」など4つの議案が可決承認されました。

定期総会后15時から、日本技能教育開発センター 理事長 石岡 慎太郎 氏を講師にお招きして、「ものづくり現場を支える実践技術者のためのドラッカー」と題して、ご講演いただきました。講師の造詣が深い鬼平犯科帳の作家 池波正太郎 氏と職業訓練の話から始まり、21世紀の未来を担う実践技術者に役立つドラッカーの教えなど、興味深いお話を聞くことができました。



# 令和7年度の新規会員のご紹介

今年度入会された会員企業を紹介します

## 堀硝子（株）

厚木市

当社は、本社を厚木に置き、自動車用ガラスへの部品組付けを主業とする創立69周年の企業です。

**HORI GLASS CO., LTD.**

## 中央計装（株）

東京都品川区


高層ビルやイベントホールなど用途に応じた空調環境を自動制御にて維持出来るように保守や施工を行う会社です。

 **Chuo Keiso Co., Ltd.**

## （株）芝計

横浜市神奈川区

設立より50年を超え、首都圏を中心に日本全国の受変電設備点検・試験・調整を専門とする技術・技能者集団です。

 **株式会社芝計**

## （株）SCRUM

東京都中央区

創業21年「無借金・自己資本比率72%」堅実経営のコンピューターシステム開発会社です。

**SCRUM**  
スクラム

## エヌエスイー（株）

東京都千代田区

金融・官公庁を中心に幅広く社会インフラを支えるIT企業です。当社独自の社員フォロー制度を導入しており、社員育成に強みのある会社です。

**NSE**

## UTエージェント（株）

東京都品川区

派遣事業にとどまらず、地元企業様への直接雇用の紹介や転籍など、さまざまなかたちで全国の地元ではたらく人を応援する人材エージェント企業です。

  
**UT**  
UTエージェント株式会社

## 向陽電気工業（株）

東京都港区

1942年に一般電気設備工事の設計施工業として営業を開始。特に燃料関係の防爆電気工事は当社の特殊技術として高い評価を得ています。



## 日本ダイヤバルブ（株）

東京都品川区

産業インフラを支えるバルブの製造会社です。今後も変化する時代のニーズに応えながら、成長を続けてまいります。

**NDV**

## ■優良従業員表彰

今年度は、令和6年度選考分と令和7年度選考分の2回の優良従業員表彰式を行いました。5月21日に令和6年度分の受賞者4名に、2月27日に令和7年度の受賞者5名に対し、会長から表彰状と記念品を授与させていただきました。受賞者のみなさま、改めておめでとうございます。各事業所での益々のご活躍をお祈りいたします。



後列左から 秋本副会長 工藤校長 大司副会長 稲田副会長  
前列左から 一関様 秋山様 野中会長 鶴巻様 鈴木様

### アークシステム (株)

#### 鈴木 裕司 様

保守チームのリーダーとして、率先してテクニカルスキルの向上に取り組むなど、社員の模範となっています。

### 共同カイトック (株) 神奈川技術センター 秋山 祥太郎 様

完成品検査の業務において、不良0件を目指す製品づくりで業績向上に貢献しています。

### (株) NTTデータIMジェイエスピー 鶴巻 一也 様

プロジェクトリーダーとして、難易度の高いシステム開発を遂行するなど、会社の信頼性向上に取り組んでいます。

### (株) ワイテック 一関 和奈 様

自己研鑽で各種のCADをマスターし、顧客の求める機械設計・製図業務で成果を上げています。



### (株) NTTデータIMジェイエスピー 大場 拓也 様

数社で構成する大規模プロジェクトに社のチームリーダーとして参画し、高いリーダーシップを発揮するなど、会社の技術力向上に貢献しています。

### 国際通信企画 (株) 渡辺 里佳 様

SE業務だけでなくネットワーク工事もこなせる貴重な人材として、全国各地の顧客から信頼を得るなど会社の成長に尽力しています。



後列左から 秋本副会長 工藤校長 稲田副会長 大司副会長  
前列左から 原様 下鳥様 渡辺様 野中会長 今井様 大場様

### 共同カイトック (株) 神奈川技術センター 今井 健雄 様

海外進出プロジェクトの立ち上げを成功させるなど、日本で唯一のバスダクトメーカーの業績アップに取り組んでいます。

### 新菱工業 (株) 原 知弘 様

大型ポンプの組立整備の品質向上に務めるとともに、第一種衛生管理者として職場の安全衛生管理にも力を入れています。

### (株) 横浜電算 下鳥 拓哉 様

労働保険総合システムの品質向上に努め、業績向上に貢献するなど、若手社員の目標となっています。



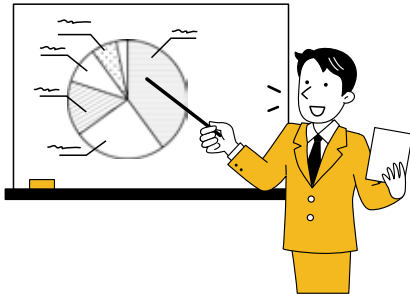
NPO法人 SoElaの郷原 正氏、(株) サン・アドの染谷 有恒氏、(株) Que seran pasaranの瞳 ゆゆ氏の3名の講師をお招きして、「プレゼンテーション講座」を実施しました。当日は23名の参加があり、プレゼンの構成、スライドの魅せ方、話し方と立振る舞いの3つのプレゼン技術を学びました。

(参加者の感想・意見)

- ・とても勉強になりました。人前で話すのは苦手ですが、今日学んだ事を少しでも、実践していきます。
- ・プレゼンテーションを学ぶ機会がこれまでなかったため3つの視点から改めて学ぶことができて大変参考になりました。ありがとうございました。

■事業成果発表会

会員企業の独自の取組みや活動、成果が上がった事例などの発表を通じ、参加者の今後の仕事に活かすとともに、会員相互の交流の場となることを期待し、初めての開催となります。旭区民文化センターサンハートにて、会員企業3社に発表していただきました。



○国際通信企画株式会社

- ・発表者  
システム建設部 グループリーダー  
渡辺 里佳氏
- ・表題  
「想定外」をなくす  
ー災害リスクを最小化する取り組みー



○株式会社山崎歯車製作所

- ・発表者  
代表取締役  
長内 健太氏
- ・表題  
緑の下で力を伝える“歯車”に  
～社会を支える町工場の挑戦～



○株式会社リガルジョイント

- ・発表者  
代表取締役  
小田中 奈穂美氏
- ・表題  
はじまりは5Sでした



学生のがんばり

# 競技大会・コンテストの記録

## 第20回若年者ものづくり競技大会

令和7年8月3日(日)～4日(月)  
あなぶきアリーナ香川ほか

第20回大会には、機械製図(CAD)職種、旋盤職種、電子回路組立て職種、及びグラフィックデザイン職種の4職種に二年生4名の学生が出場しました。日ごろの練習の成果を発揮して課題に取り組む姿に、学生の成長を感じることができました。

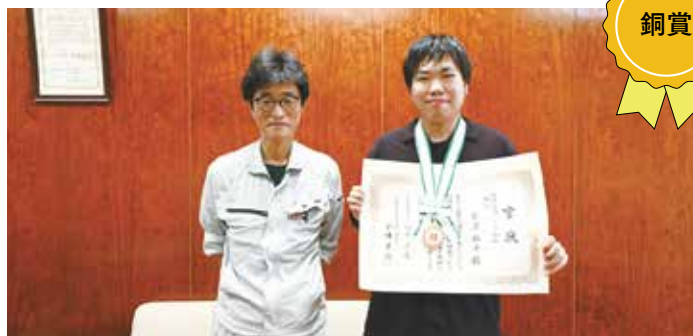
その結果、機械製図(CAD)職種の熊澤裕斗さんが銅賞を、グラフィックデザイン職種の望月明日香さんが敢闘賞を受賞しました。



### 機械製図 (CAD) 職種



熊澤 裕斗さん



銅賞

内山先生と熊澤さん

### グラフィックデザイン職種



望月 明日香さん



敢闘賞

若島先生、望月さん、安次嶺先生

### 旋盤職種



加瀬 恒規さん

### 電子回路組立て職種



並木 心春さん

## Honda エコマイレージチャレンジ2025

令和7年10月12日（土）～13日（日）  
モビリティリゾートもてぎ

「ガソリン1リットルでどこまで走れるか」を競う本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ2025 第44回全国大会に、今年も省エネ研究部（顧問 太田元一）の2台が出場しました。

雨で前日リハーサルができないアクシデントで迎えた本番、大学・短大・高専・専門学校生クラスのグループⅢに出場したβ号は711.322kmの記録で第4位、ま

た、カーボンニュートラル燃料クラスの同グループⅢに出場したα号は474.858kmの記録で第5位と、2台が入賞する好成績でした。さらに「カム軸後輪駆動」という独創的な試みで挑んだβ号は、燃費向上のアイデアと具現化の技術が高く評価されて、「ものづくり賞」を受賞する快挙を達成しました。



グループⅢ 第4位のβ号



CNクラスグループⅢ 第5位のα号



## ゴム動力自動車コンテスト

令和7年10月26日（日）  
高崎市もてなし広場

ゴムのみを動力とした自動車に、実際に人を乗せて走り、70メートルの走行タイムを競う大会に、昨年引き続き生産技術科の学生（指導担当 湯田真章）が挑戦しました。1走目は68メートルでストップ、2走目もゴール目の前の69メートルで止まってしまいました。この競技の難しいのは、ゴール後10メートル以内で自然に止まらないといけないところです。来年の完走を目指して再チャレンジします。



## ドローンプログラミングトーナメント東日本大会

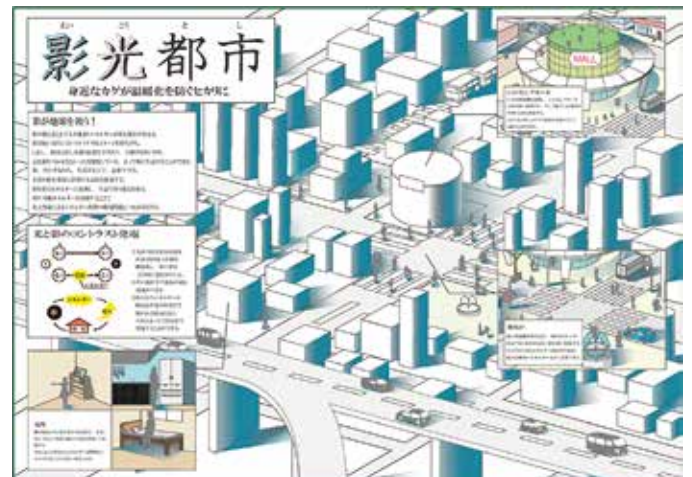
令和7年12月21日(日)  
電気通信大学

通称「ドロカツ」。小型のドローンを用いた競技会に、情報技術科の学生3名が挑戦しました。競技は、プログラミングスキルと操縦スキルの2部門で構成され、設定されたポイントをクリアしながら、制限時間内にゴールを目指す大会です。初出場のKCITチームは、プログラミングスキル部門で第3位に入賞するとともに、プログラミングされたドローンの動き方を評価され、スポンサー賞を受賞しました。



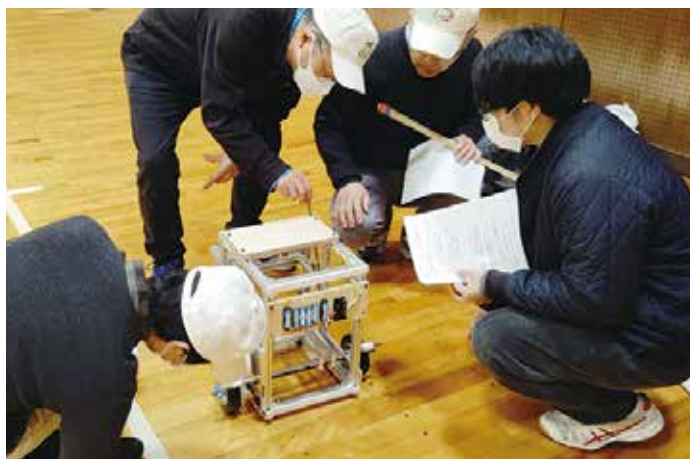
## 主張する『みせ』学生デザインコンペ

令和8年1月23日(金)商業施設技術団体連合会が主催する「第23回主張する『みせ』学生デザインコンペ」の表彰式がありました。大学生や大学院生からの出品が多い全国246点の応募の中、産業デザイン科1年生が出品した3チームのうち2作品が奨励賞を受賞しました。



pico-EVとは、単三充電式ニッケル水素電池6本を使用して大人一人を乗せて走ることができる超小型モビリティのことです。20分間で走行距離を競う大会です。結果は6チーム中3位の記録でしたが、電気配線が綺麗で車体がコンパクトであり、廃材を使うなどエコに配慮した点が評価され、pico-EV賞を受賞しました。

過去3年間はオンラインでの参加でしたが、今回初めて現地に赴き、他大学の走行をリアルに見たことで、次年度に向け、課題解決に必要な経験と知識を身に付けることができました。



ご支援ありがとうございました

## ■施設見学会

12月11日 (木)

横浜駅西口から貸切バスで移動し、二か所の施設を見学しました。

一か所目は、東京都江東区にある「東京スイソミル」。水素社会実現に向けて、水素エネルギーの可能性や水素社会のしくみを学べる学習施設です。水素エネルギーをつくり出す原理模型、水素蓄電エネルギーマネジメントシステム、さらには晴海フラッグで行われている実験都市のジオラマなど、興味深い展示が数多くありました。

二か所目は、「東京湾アクアライン」。普段は入ることのできない車道の下にある緊急避難通路を歩き、防災設備を見て、アクアラインの特徴や防災システムを学びました。



## ■卒業生ホームカミングデー

11月26日 (水)

社会人1年目から15年目の20名の卒業生をお迎えし、学生との交流を図りました。1年生は3～4人のグループに分かれ、25分間の交流を3セット、3人の卒業生と懇談しました。初めての試みだけに、どうなるか心配しましたが、卒業生や学生から「良かった」「楽しかった」の声が多く、実りあるイベントとなりました。



3時限目の授業時間に、短大校内を自由に見学していただきました。授業の様子を見ながら、担当の先生から説明を受ける機会もありました。見学会の後には、4階の大教室に集まっていただき、各学科の先生方と意見交換をする場も設けました。当日は69名の参加者がありました。



■高校内ガイダンスでの社会人講話の講師

高校で行われる進路ガイダンスの「社会人講話」の講師を卒業生にお願いしました。「工業技術関連の仕事」、「ものづくりのエンジニア」といったテーマで、仕事の概要や魅力を高校1年生に説明してくれました。高校生からの質問にも、的確に答えてくれました。ものづくりエンジニアを目指してくれることを期待します。

6月10日 江田高校



(株)リガルジョイント  
石神 仁さん

10月30日 霧が丘高校



オサ機械(株)  
門屋 愛弓さん

11月10日 麻生高校



(株)テクノステート  
石原 魁さん

1月9日 新栄高校



(株)リガルジョイント  
エモンボン オサメデ ジュディさん

3月5日 湘南学院高校



ニッパ(株)  
松岡 智弥さん

## ■グッドヒューマンネットワーク講座

9月10日 (水)

第40回目のグヒネット講座は、横浜国立大学から2名の講師をお招きし、旭区民文化センター サンハートにて開催しました。梅原 出 学長からは横浜国立大学の説明、世界水準の研究大学を目指している点などについて説明がありました。次に、横浜国立大学台風科学技

術研究センター長でもある筆保 弘徳 教授からは、「台風災害の激甚化にいかに向かうのか～台風ーンショット計画！」というテーマで、台風制御や台風エネルギー利活用技術に関する説明を聞きました。



梅原学長



筆保教授

## ■情報交流会 3月4日 (水)～5日 (木)

短大校1年生と新規採用を予定する会員企業の橋渡しをする職業能力開発情報交流会を開催しました。2日間、午前・午後の4回で、計195社から申込みがあり、163社が学生と交流を持ちました。

## ■企業実習(インターンシップ)の協力

短大校1年生の企業実習が、夏休み期間8月4日～29日と、年明け1月20日～29日に行われました。夏季は59社152名、冬季は39社97名の学生の受け入れのご協力をいただきました。ありがとうございました。



推進協企業で活躍する女性エンジニアに協力していただき、「女子高生集まれ！目指せエンジニア～現役女子エンジニアのトークセッション～」を開催しました。

第1部のトークセッションでは、6名の卒業生等を迎え、ファシリテータとして、フリーアナウンサーとしてリポーターやMCで活躍されている瞳ゆゆさんに登壇し

ていただきました。「エンジニアを目指すきっかけ」や「仕事のやりがい」、「アフターファイブ・休日の過ごし方」などの話題に真剣に答えてくれました。第2部の座談会は、参加してくれたみなさんで、お茶やお菓子を食べながら、和やかな雰囲気の中、女子会トークが弾みま



## 《参加した卒業生等のコメント・感想》

・学生時代は他学科との交流があまりなかったため、初めて知る就職先や仕事の内容も多く、非常に興味深かったです。特に、要所々々で瞳さんが話題を深掘りしてくださったおかげで、表面的なことだけでなく、より踏み込んだ面白い内容に触れられたと感じています。

・他のパネラーの皆さんが何を意識して仕事をしているのか、どんな仕事をしているのか自分の仕事だけじゃないエンジニア職を知ることができたことが嬉しかったです。

## ■事務局だより

15号の発行にあたり、紙面を一新しました。アニュアルレポートの一部を取り込み、写真満載の紙面としました。ご意見をお聞かせください。

当推進協議会のホームページでは、協議会の活動情報だけでなく、神奈川県からのお知らせや関係団体からの情報も掲載しています。ぜひ、ご活用ください。

### 【メールアドレス登録のお願い】

会員企業との連絡にはメールの活用を推進しています。未だ会員の3割程度が未登録です。登録されていない会員企業のご担当者の方は、事務局までご連絡ください。

ホームページURL

<https://suishinkyo.info/>

産業短大推進協

検索

